

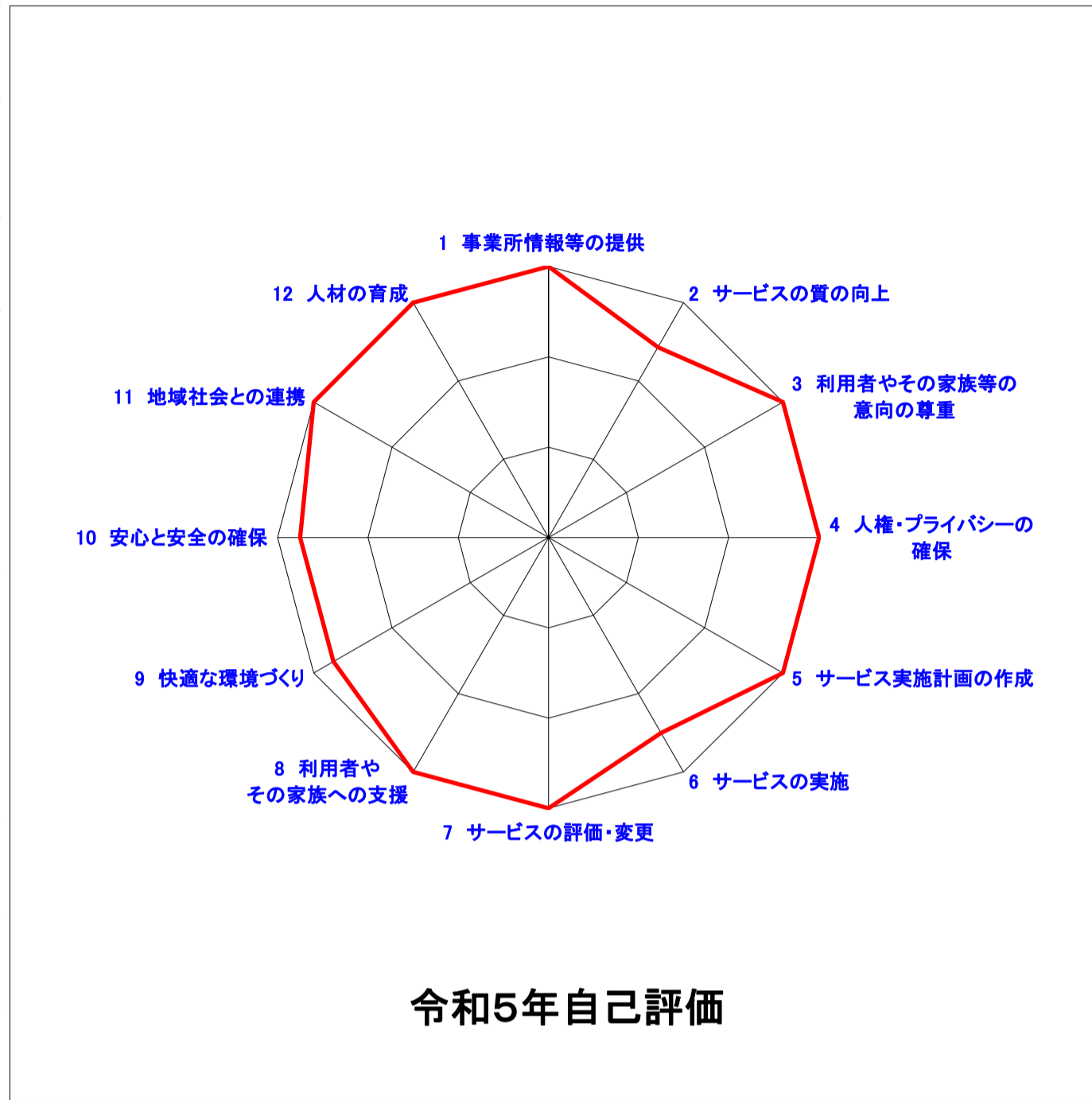


グループホーム悠々やちよ

(事業者番号: 1292600036)

認知症対応型共同生活介護(予防)

事業者名 社会福祉法人悠久会
事業所名 グループホーム悠々やちよ
サービス名 認知症対応型共同生活介護(予防)
評価委員構成 ホーム長 管理者・計画作成担当者 介護主任 介護副主任
評価手順 各評価委員ごとに評価を作成し、それらを取りまとめ自己評価とする。①令和4年1月23日 各委員に評価を依頼 ②令和3年1月31日 自己評価委員会開催
自己評価年月日 令和5年1月31日
評価責任者 役職名 ホーム長
評価責任者 氏名 渡辺 哲也



事業所の運営			
1 事業所に関する情報等の提供			
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	A	B	C
事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。	A	B	C
「事業所に関する情報等の提供」に関する特記			
2 サービスの質の向上			
サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に職員が参加している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。	A	B	C
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。	A	B	C
職員の資質向上に向けた体制を整備している。	A	B	C
職員の研修機会を確保している。	A	B	C
職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。	A	B	C
「サービスの質の向上」に関する特記			
サービスの質の向上: 運営推進会議を定期的な利用者、家族からの意見聴取の場と位置づけているが、令和5年度の運営推進会議にご家族にはご出席いただけません。特段の意見・要望はなかった。要望があれば随時受け付け改善しています。 職員の資質向上: 令和4年度からオンライン研修を導入。職員全員向けの研修・教育を行っています。人事評価制度用のシートを用い人事考課を行っています。			

利用者の尊重・保護			
3 利用者やその家族等の意向の尊重			
サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。	A	B	C
利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。	A	B	C
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。	A	B	C
「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記 行事等のアンケート:口頭で感想を確認し記録する方法を取っています。			
4 人権・プライバシーの確保			
人権やプライバシー確保に配慮している。	A	B	C
個人情報の保護を徹底している。	A	B	C
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。	A	B	C
「人権・プライバシーの確保」に関する特記 少数の職員構成であるため委員会は設けていませんが、職員会議で定期的に虐待防止及び身体拘束廃止の協議を行っています。			
サービス実施過程の確立			
5 サービス実施計画の作成			
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。	A	B	C
「サービス実施計画の作成」に関する特記			
6 サービスの実施			
サービスの標準的な実施方法を定めている。	A	B	C
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。	A	B	C
「サービスの実施」に関する特記 定期的なマニュアルの確認は行えておりません。			
7 サービスの評価・変更			
サービス実施に関する評価を行っている。	A	B	C
サービス実施計画の見直しを行っている。	A	B	C
「サービスの評価・変更」に関する特記			
サービスの適切な実施			
8 利用者やその家族等への支援			
サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。	A	B	C
利用者の好みにあわせた理・美容への支援を行っている。	A	B	C
余暇活動や生きがいがづくりへの支援を行っている。	A	B	C
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。	A	B	C
利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。	A	B	C
利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。	A	B	C
「利用者やその家族への支援」に関する特記 日常の様子はSNSで都度、写真や動画を添付しご家族に報告しております。 面会場所は居室を基本としてプライバシーの確保を図っています。5月以降は面会、外出、外泊も感染対策に留意していただいた上で行っていただいております。			

9 快適な環境づくり			
快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。	A	B	C
快適な食事環境の整備に配慮している。	A	B	C
郵便や電話などの通信機会を確保している。	A	B	C
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。	A	B	C
「快適な環境づくり」に関する特記			
生活範囲の拡大: 近隣の商業施設等に適宜外出していただけるよう支援しております。			
10 安心と安全の確保			
事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。	A	B	C
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。	A	B	C
衛生管理などを徹底している。	A	B	C
利用者の健康保持に配慮している。	A	B	C
「安心と安全の確保」に関する特記			
定期的なマニュアルの確認は行えておりません			
地域等との連携			
11 地域社会との連携			
事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。	A	B	C
ボランティアの受入に配慮している。	A	B	C
「地域社会との連携」に関する特記			
コーラスのボランティア等にお越しいただいております			
12 人材の育成			
実習生を受け入れる体制を整備している。	A	B	C
「人材の育成」に関する特記			
総評			
新型コロナが感染症5類移行後は、感染対策を取りながらご家族、地域などとの関係を徐々に従前の状況に近づけるよう努めました。昨年度までは書面開催でした運営推進会議も対面開催とし、ご家族とご利用者の面会場所も居室で行っていただきました。ボランティアに來訪していただくなど可能な限りの対応を行いました。			